

中間前払金保証に関するお知らせ

> 県が中間前払金の認定請求書を簡単に作成できるツールを開発

県は、中間前払金制度の利用促進による建設企業の資金調達の円滑化を図るため、**中間前払金の認定請求書が簡単に作成できるツールを開発**しました。

茨城県 中間前払金

検索

クリック!

URL <https://www.pref.ibaraki.jp/doboku/kanri/kensetsu/kasseika/chukankaekin.html>

> ツールのメリット

◆ 入力項目の大幅な削減!

中間前金払認定請求書と工事履行報告書をリンク付けたことにより、入力内容が重複している項目に改めて同じ内容を入力する必要はありません。

◆ 構成比や出来高金額の手計算不要!

あらかじめ入力されている計算式により、各工種の設計金額および進捗率を入力するだけで構成比や出来高金額が自動計算されます。

◆ 記載内容のチェックが簡素化!

構成比や出来高金額を算定するために参照している数値が工事履行報告書に入力されていることから、記載内容のチェックが迅速化され認定調書の早期発行が期待されます。

> ツールのイメージ

< 中間前金払認定請求書 >

別記様式第1号	本件責任者 氏名 ●●●●	(携帯)電話 例)090-XXX-XXXX XXX-XXX-XXXX
	請求担当者 氏名 □□□□	(携帯)電話 XXX-XXX-XXXX
中間前金払認定請求書		
	認定請求日	2021年12月1日

入力箇所を水色の背景色で表示

リンク付け

< 工事履行報告書 >

別記様式第2号	本件責任者 氏名 ●●●●	(携帯)電話 9090-XXX-XXXX XXX-XXX-XXXX
	請求担当者 氏名 □□□□	(携帯)電話 XXX-XXX-XXXX
工事履行報告書 (中間前金払用)		
	認定請求日	2021年12月1日

入力内容が重複している箇所を自動で反映!

構成比を自動計算!

請負代金額(円)税込※	¥55,000,000	請負代金額(円)税抜※	¥50,000,000
工事(工事費内訳書、又は設計書参照)	④進捗率(%) ※裏面施工	⑤直接工事費+共通仮設費 ※構成比理台額	作業に要した塩物 ③×④ ※出中間金額
道路土工	100.0%	¥4,725,000	¥4,725,000
石・ブロック積工	100.0%	¥2,825,000	¥2,825,000
法面工	100.0%	¥10,500,000	¥10,500,000
排水構築物工	100.0%	¥5,250,000	¥5,250,000
土工費		¥42,000,000	¥32,943,750
消費税及び地方消費税		¥4,200,000	¥8,294,375
合計		¥46,200,000	¥38,238,125
		請負代金額との比率	65.0%
直接工事費計		¥40,000,000	100.0%
共通仮設費		¥2,000,000	
土工費		¥42,000,000	
		設計金額(円単位)	構成比
道路土工	¥4,500,000		11.3%
石・ブロック積工	¥2,500,000		6.8%
法面工	¥10,000,000		25.0%
排水構築物工	¥5,000,000		12.5%
			0.0%

自動計算!

具体的な手続きやご不明点などはお気軽にお問い合わせください。

東日本建設業保証株式会社 茨城支店 TEL: 029-221-3800

中間前金払請求書作成ツール

進捗出来高算出容易に

茨城県土木部は、中間前金払とを容易に確認できる、ツール制度を発注者に積極的に活用し、土木部監理課ホームページでもらうための認定請求書を簡単に入手できるように作成できるツールを開発し、中間前金払を請求するの必要運を始めた。東日本建設業保証 要な「工期の2分の1を超過し証表城支店が監修して開発した「工事表により中間前金払認定請求書と工事理、期の2分の1を超過するまでに行報告書のエクセルファイルに、実施すべき作業が行われている必要事項を入力するだけで、中「この2要件は、工程表で中間前金払の要件の1つである。易に確認できる。「工事の進捗出来高が請負金額、一方で「工事の進捗出来高がの2分の1以上」に達している」請負金額の2分の1以上に達し

茨城県が開発、東保証監修

ていることこの要件は、請負代金を工事ごとの工事費に分解し、工事ごとの工事費に進捗率を乗じたものを合算した工事全体の進捗出来高を出さないと判断できない。今回開発したツールは、工事ごとの直接工事費と進捗率、共通仮設費を入力するだけで、工事の進捗出来高が請負金額の2分の1以上か否かを自動的に算出する。

土木部は、県内建設業者の資金調達の円滑化を図るため、県内市町村にもツールの活用を働き掛ける。

建設通信新聞2022年1月17日第4面
提供：日刊建設通信新聞社

進捗状況を自動算出

県が簡単作成ツール開発

中間前金払認定請求書

作成できるツールを開発した。2022年1月4日の請求分から運用する方針だ。エクセルで提供し、監理課ホームページへ近日中に公開する運びとなる。開発に当たっては東日本建設業保証(茨城支店)が監修。手続きの大幅な簡素化・迅速化、速やかな支払い、接触機会減少による新型コロナウイルス感染症対策などが期待される。

県監理課は、中間前金払の認定請求書を簡単に中間前金払請求の3要件の1要件として、工事進捗出来高が請負金額の2分の1以上に達している必要がある。進捗を算出するに当たり、発注者にも手間と時間を要していた。今回の開発ツールを用いると、必要最小限の情報を入力すれば自動的に進捗を把握でき、事務簡素化や速やかな支払い受け取りが可能となる。

今後は市町村にも波及するよう努める。

日本工業経済新聞2021年12月17日第1面
提供：日本工業経済新聞社水戸支局

中間前払金制度について

- ◆ 工期・出来高が1/2を超えた時期に、請負金額の40%に相当する当初の前払金に加え、更に20%の中間前払金を受け取ることができる制度です。

